

企業の成長発展をサポートする
日本経営者同友会



日本経営者新聞

発行所 (C)日本経営者新聞社

東京都千代田区神田錦町3-2

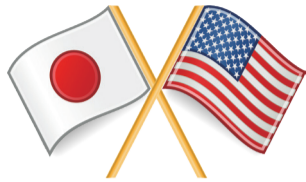
No.51 (通巻348号)

年間購読料 8400円

No.51(通巻第348号)

JAPAN PRESIDENTS JOURNAL

編集局 ☎03-5280-6222



トランプ大統領初来日!



両首脳共同記者会見(赤坂離宮にて)

出典 外務省ウェブサイト

今回の訪日では、北朝鮮問題解決への糸口を見出すことが最重要課題であった。横田基地での演説でも個人名や国名は口にできなかったものの、現在の不安定な世界情勢に対し「私自身が大統領である限り、資金、力、人材において『強いアメリカ』が勝る」とパワフルかつ雄弁な口調でアピールした。

強いアメリカ
十一月五日午前、都内米軍横田基地に到着したトランプ大統領は、駐日米軍兵士等に大拍手で迎えられ、最高司令官として米空軍ジャクソンを着用して演説。日本国内で献身的に任務を遂行する米兵に対する労いの言葉、日本国自衛隊に今回の警護への感謝を述べた。日本が、これまで長年にわたり、対米友好関係を維持してきたことに謝辞を述べた。



握手を交わす両国首脳(赤坂離宮にて)

出典 外務省ウェブサイト



霞ヶ関カンツリー倶楽部にてゴルフをする両首脳

出典 外務省ウェブサイト

環境太平洋経済連携協定(TPP)に関して日本は、米国の復帰を求めているが、トランプ氏は会合において「TPPは正しい考え方はなく、これまでの貿易でTPP以上の成果を得られる」と協定復帰には否定的な考えを明らかにした。

対日赤字削減へ
六日午前、トランプ氏は都内にある駐日米大使公邸で開かれた日米の経済人との会合に出席した。ビジネス界で長年の実績を誇る氏は、対日貿易への苦言を呈した。「日本との間に年間20億ドルもの貿易赤字を抱えている。対日貿易は自由ではなく、互恵的でもない」との指摘をした。



日米首脳会談(赤坂離宮にて)

出典 外務省ウェブサイト



握手を交わす両首脳(赤坂離宮にて)

出典 外務省ウェブサイト

トランプ大統領は「これほど綿密な首脳同士の関係はなかった」と今回の訪日を振り返った。これからの世界情勢は緊迫することが予想されるだけに、トランプ大統領が今回の訪日を評価したことは、国際外交における日本の立場にも優勢に働くであろう。

安倍首相とは、五日午後のゴルフ外交を含め、六日までの二日間にわたり充実した会談が行われた。議論の中心は、北朝鮮への対応についてであったが、トランプ氏が北朝鮮へ厳戒な姿勢で臨み続けることが改めて明らかになった。安倍首相とも、最大の圧力をかけていくことで合意した。

北朝鮮へは日米協力で
六日午後、トランプ氏は北朝鮮拉致被害者家族とも面会し、「拉致された被害者が愛する人々の元に戻るよう、安倍首相と力を合わせていきたい」と、解決に向けた協力を約束した。



赤坂離宮にて拉致被害者家族との面会

出典 外務省ウェブサイト

秋の園遊会



園遊会に御出席の皇室の皆様
出典 宮内庁ウェブサイト

天皇・皇后両陛下が主催される秋の園遊会が十一月九日、東京元赤坂の赤坂御苑で開かれ、小室哲哉氏、リオ・パラリンピックの代表選手たち約二千人が招待された。日本経営者同友会代表の徳田ひとみと東京ブータン名誉総領事も多数の招待客と歓談した。



安倍昭恵首相夫人と徳田名誉総領事

イヴァンカ・トランプ大統領補佐官

今年のWAWI2017では、「WAWI In Changing World」をテーマとし、変化する世界において女性が活躍していくために戦略的に行動するための方策等について議論が行われた。

この会議は安倍政権の最重要課題の一つである「女性が輝く社会」を国内外にアピールするための取組みとして2014年から開催された国際会議である。今回が四回目の開催であったが、当会代表の徳田ひとみと東京ブータン王国名誉総領事も出席した。

国際女性会議 WAW!2017

十一月一日から三日まで東京プリンスホテル(東京都港区)にて国際女性会議 WAWI2017 が開催された。WAWIとはWorld Assembly for Womenの略称で「ワウ」と呼ばれている。



安倍首相とイヴァンカ大統領補佐官
出典 外務省ウェブサイト



スシ・プジアストゥティ インドネシア海洋水産大臣(左)と徳田名誉総領事(右)



新時代を切り拓き、企業の発展に貢献する経済団体です。

ブータン特集



ブータン王国ソナム王女来日

埼玉県「大使館発！世界がわかる授業」



生徒たちにGNHについて話をする徳田名誉総領事



歓迎の夕べでスピーチをするソナム王女 (ホテルニューオータニにて)

十月、ブータン王国と京都大学の友好六十周年を記念し、「京大・ブータン連携60周年記念事業」ブータン王女によるGNHシンポジウム」が開催され、ブータン王国よりソナムデチャンワンチュク王女が招聘された。

同月23日、京都大学の主催により、東京都千代田区にあるホテルニューオータニにて、「ソナム王女歓迎の夕べ、東京」が開催された。日本とブータンとの友好関係に長く貢献されている多数の関係者が集い、和やかな雰囲気の中で盛会となった。



歓迎の夕べでスピーチをする徳田名誉総領事

ソナム王女は、「ケサン・チヨデン・ワンチュク 第三代国王妃が1957年に初訪日してから、六十年間、日本とブータンは友好を深めて参りました。日本の皆様と一緒に、この友好関係を更に深めて参りたいと思います」と御挨拶された。

徳田名誉総領事は、歓迎の挨拶で、「2011年の東日本大震災の折にブータン王国が世界に先駆け100万ドルの義援金をお届け下さったことへの御礼と同年秋、十一月に国賓として後訪日された国王陛下の姿に多くの国民が希望と勇気を与えられたことへの謝意を伝えた。

平成23年度「大使館発！世界がわかる授業」が埼玉県国際課の企画により行われ、徳田ひとみ・在東京ブータン王国名誉総領事は、「1月23日に文部科学省によりスーパーグローバルハイスクールに認定された埼玉県立不動岡高校（埼玉県加須市）、同月20日埼玉県立加須南高校（埼玉県加須市）にてブータン王国についての特別講義を行った。

徳田名誉総領事から、ブータン王国の歴史、伝統文化、その他同国の魅力についてビジュアルプレゼンテーションを通して紹介され、ブータン王国のGNH (Gross National Happiness) やブータン王国の農業の礎を築いた西岡京治氏 (ダシヨーンシオカ) 等の説明もされた。

講演会には、国際舞台での活躍を望むたくさんの生徒さんが出席した。講演後の質疑応答では、生徒さんから多くの活発な意見や質問が出され、有意義な講演会となった。

ブータン王国に関する話題だけでなく、他国や国連の平和活動などにまで及び、それぞれの高校での講演は、大盛況であった。

平成23年度「大使館発！世界がわかる授業」が埼玉県国際課の企画により行われ、徳田ひとみ・在東京ブータン王国名誉総領事は、「1月23日に文部科学省によりスーパーグローバルハイスクールに認定された埼玉県立不動岡高校（埼玉県加須市）、同月20日埼玉県立加須南高校（埼玉県加須市）にてブータン王国についての特別講義を行った。

映画「じんじん～其の二～」のお知らせ

待望の第二弾

俳優の大地康雄の企画主演によって2013年に公開された映画「じんじん」は、今年9月に第二弾「じんじん」の「其の二」が公開された。

2012年3月21日に日本を襲った東日本大震災により、尊い生命、日常生活を奪われ、夢や希望を失いかけたときに、絵本の読み聞かせが子供たちの心のよりどころとなった。

絵本を真ん中に置きながら、人の優しさ親子の絆をテーマに映画を届けたいという大地氏の思いにたくさんの人たちが共感して出来上がったのが、映画「じんじん」である。

北海道剣淵町を舞台とし、広大な大地に染みわたる親子の絆を描いている。



若者を応援したい！

第二弾の「じんじん、其の二」は、舞台を北海道剣淵町から神奈川県秦野市へ移し、「若者を応援したい」という強い思いから創られた作品。

自己否定感の強い若者が登場し、主人公の銀三郎と一緒に暮らすことになる。

銀三郎も、試練から逃げ家族を捨てて、失敗と挫折の繰り返しにより夢を諦めた人間。この若者は、銀三郎に次第に心を開き、自然と関わり、悩みながらもことごと自分と向き合っていく。

ドローンを使用している撮影で秦野市の豊かで美しい森林風景もふんだんに紹介されている。

大地康雄氏は、この映画を通して自然環境の保護、森林の保全の重要性を訴えている。

地域密着型シネマ

「じんじん」の「其の二」は、劇場公開だけに頼らず、ひとつひとつの県市町村などで丁寧な各地のホールや公共施設で、地域上映会を行っていく地域密着型シネマという公開方式をとっている。

みんなで丁寧な育て、映画で人と人をつなげ、地域から日本を元気にする上映の在り方を実現させていく。

この作品は全国で千箇所、三十万人以上動員。インテイク国際映画祭で主演男優賞を受賞。

詳しくは、www.jinjin2.jp を参照。



写真提供 『じんじん』製作委員会

『本会は、日本とASEAN諸国との相互の文化的理解を基盤として、経済的社会的発展と国民相互の友好協力に貢献することを目的とする』



本部：東京都千代田区神田錦町3-2
電話(03)5280-6123

アセアン加盟国

- | | |
|--------|--------|
| インドネシア | マレーシア |
| フィリピン | シンガポール |
| タイ | ブルネイ |
| ベトナム | ラオス |
| ミャンマー | カンボジア |
| 日本 | 中国 |
| 韓国 | |

活動内容

- ネットワーク・サービス
アセアン各国諸機関とのネットワーク
国際交流に関する支援活動
- ビジネス・サポート
企画・開発業務等に関するサポート
海外進出・合併企業等に関するサポート
- 教育・研修・研究活動
国際会議・シンポジウムの開催
海外視察団派遣
- 出版活動
アセアン時事ニュースの発行
政治・経済・文化資料の提供



新時代を切り拓き、企業の発展に貢献する経済団体です。

日本とインドネシア 石油危機から日本を救った稲嶺一郎氏



太平洋戦争の戦中・戦後を通じ、日本とインドネシアの相互理解、政治関係の促進、2国間友好関係の構築に貢献した政治家として、稲嶺一郎元参議院議員の名前が第一に挙げられる。

稲嶺氏は1905年9月23日、沖縄県に生まれ、生家は三司官(さんしかん)旧琉球王国の宰相職を務めた名門。早稲田大学に入り、下宿先の大学の恩師、西村眞次教授の娘と結婚した。西村教授は戦前、日本人のルーツを解明した文化人類学者である。

運命の出会い

昭和19年、稲嶺氏はジャカルタの日本海軍武官府の要請により満鉄バンコク所長から同武官府華僑課長として赴任。このとき、民族指導者のスカルノ氏、イスラム指導者のナシール師らと深い親交を持ち、終戦後、日本軍の武器、弾薬、食糧などを秘かに提供、助言を与え、インドネシアに独立戦争を支援した。これが発覚し、オランダ軍により戦犯としてグロドック刑務所(西ジャカルタ地区)に一年余り投獄される。この刑務所で金子智一ジャワ軍政監部宣伝班員(戦後、日本歩け歩け協会会長)と一緒にになり、後、金子氏と同郷(山形)の木村武雄衆院議員と稲嶺氏はスハルト政権誕生と共に2国間友好協力関係を円滑に主導して行くこととなるが、その運命の出会いがこのグロドック刑務所だった。

ナシール師は日本軍施政下、マシユミ(インドネシア・イスラム教徒協議会)指導者として活躍、世界イスラム教徒協議会副議長としてイスラム世界では著名な指導者で、世界のイスラム指導者の連帯を呼び掛け、59年にバンドンで開かれた初のアジア・アフリカ会議には、多くの世界のイスラム国の指導者・スルタンが参集した。

59年10月、第4次中東戦争が勃発、石油輸出機構(OPEC)は原油の生産を削減、原油価格を一挙に20%引き上げた。さらに、アラブ産油国はイスラエル支援国に対し石油禁輸措置を公表。

日本ではトイレット・ペーパー・パニック現象があったものの、大きな混乱はなく、89年以降の日本経済は注目されることとなった。この背景には、稲嶺氏の偉大な貢献があった。

59年に琉球石油(現りゅうせき)を設立して社長を務め、62年に参議議員となった稲嶺氏はオイル・ショック後、旧知のスハルト大統領(当時)に石油の輸入増大を依頼した。さらに、サウジアラビアの石油の対日輸出工作を無二の親友であるナシール師に依頼。稲嶺氏はナシール師の書簡を携え、サウジのファイサル国王に面会、石油はインドネシア経由で日本に輸出されることとなった。



スハルト首相を訪問する稲嶺一郎氏 写真提供：ASEAN 協会

ミスター・アセアン

89年、自民党外交部会長だった稲嶺氏はアジア諸国との関係強化を促進するため、東南アジア諸国連合(ASEAN)協会を設立、自ら会長に就任した。ちなみに2代目は石原慎太郎氏である。また、稲嶺氏は戦時中インドネシアにいた軍人軍属の戦友会組織をまとめ、日本インドネシア友好団体協議会を創設、東南アジアの人々からミスター・アセアンと呼ばれた。

稲嶺氏は89年6月19日死去、88歳だった。元沖縄県知事稲嶺恵一氏は稲嶺氏の子息である。

下地常雄ASEAN協会代表理事は「稲嶺一郎先生は沖縄を代表する代議士、琉球石油のトップとして腕を發揮し、国家を背負っている代議士らしい代議士だった。何より東南アジアこそが、経済的にも地政学的にも日本の生き残りを担保するものになる」としてASEAN協会を創設した。先見の明ある政治家だった」と振り返った。

日本とインドネシアは長きにわたって友好関係が保たれている。それは明治から現在まで、多くの先達によって築き上げられ、特に終戦以降、多くの人たちの血と涙と汗と努力によって達成された友好信頼関係でもある。両国の関係は今後も重要であるが、他方、先達の努力は忘れ去られ、その功績を省みる人も少ない状況になっている。これからの日本人はインドネシアやアジアに対してどう対応すべきなのか。先人達の功績を温故知新とすべきではなからうかと考えて、過去の人物を紹介していきたい。(濱田雄二)

中小企業白書で紹介された企業の業績アップ成功例

ITを活用した顧客対応力強化により、自社の付加価値を価格に反映し、高収益を実現できている企業

事例2-3-2：東海バネ工業株式会社

大阪府大阪市の東海バネ工業株式会社(従業員86名、資本金9,644万円)は、金属バネの設計・製造・販売を行う事業者である。同社のバネは、単品受注・オーダーメイドが特徴であり、用途は自動車部品の試作品から個人のライター用バネ等、多岐に渡る。

他社には作れないバネを少量受注生産するビジネスモデルでは、大量生産できる製品に比べて単価は決して安くはないため、納品先メーカーから値下げ要請を受けることも多く、付加価値に見合う価格をいかに維持していくかが同社の大きな課題となっていた。そこで、同社の渡辺良機社長が取り組んだのは、バネ職人の技術力を向上させるための人材育成の仕組みの構築と、顧客対応力向上のためのIT活用であった。

同社のビジネスモデルを維持していくためには、顧客から求められればどんなバネでも生産できることが不可欠であり、そのためにバネ職人の技術力を常に向上させていかなければならない。バネ職人の育成に最も重要なのは「自分が成長している実感が得られること」と考えた渡辺社長は、各職人の成長度を細かく記録するとともに、社長自ら全社員と面談を実施し、成長している点を積極的に評価するなど、職人のモチベーションを高めてきた。また、同社の製品は、特殊用途で使用されることが多く、発注は不定期で少量だが、短納期を求められることが多い。

従来は、注文を受けると過去の発注書や設計図をキャビネットから探し出し、そこから改めて納期を算定・提示するため、対応に時間がかかっていた。そこで、過去の受注情報をデータベース化することで、過去の取引履歴から顧客の要望をすばやく把握し、加えて生産現場との連携もITを活用して自動化することで正確な納期を迅速に回答する等、受注時の対応力を強化することで顧客からの信頼を徐々に獲得していった。同社にしか作れないバネの受注を、正確かつ迅速に対応し、加えて99.9%と高い納期遵守率を達成することで、同社は「言い値」で販売することが可能になっていった。

さらに、2000年代のはじめに、基幹システムベンダーから提案され、紹介された外部コンサルタントのアドバイスを受けホームページをリニューアルした。リニューアル後のホームページでは、バネに関する情報を豊富に掲載し、「バネの“困った”」を抱える人に役立つホームページを目指した。同社が持つ技術情報を惜しみなく開示するなど、これまで一般には入手困難な情報まで掲載することでアクセス数が劇的に増加し、単品・小ロットでバネを調達したいものの発注先がなかった法人・個人から、多くの新規受注を獲得することができた。

今後の成長に向け、同社はグローバル市場にも目を向けている。渡辺社長は、「どんなバネでも、どんな小ロットでも注文を受けるといふ当社のビジネスモデルは、世界的に見ても珍しい。ホームページの英語化も進めており、海外からの受注も増えてきている。」と語る。

(「2017年中小企業白書」より抜粋)



新時代を切り拓き、企業の発展に貢献する経済団体です。

普天間未来基金のお知らせ

沖縄県宜野湾市の中心に位置する普天間飛行場は、その危険性ゆえに日米両政府において返還合意がなされ、合意後二十年以上経ったにも拘わらず、返還が実現されていない。

視点を世界に広げると東アジアと日本本土の中心に位置しているという地理的特性からポテンシャルが高い場所となっており、その跡地利用は、沖縄振興の発展はもとより日本経済の起爆剤になるものと言われている。

今年七月に、宜野湾市は普天間未来基金を開設し、跡地利用に伴う将来の財源需要に備えるとともに、大きな可能性を秘めた基地跡地というフィールドにおいて活躍することとなる未来を担う人材育成などに活用していくことを考えている。

普天間未来基金への寄付の種類として、
 ① 宜野湾市ふるさと応援寄付（基地跡地利用の推進に関する事業に指定された寄附）、
 ② 一般寄附（宜野湾市ふるさと応援寄附によらない寄附）がある。

企業等からの寄附状況について
 寄附者（社）数 八件
 寄附金額 16,100,000円

沖縄県宜野湾市野崇1-1-1
 宜野湾市基地政策部まち未来課
 Tel: 098-893-4401(直通)
 Fax: 098-892-7022
 E-mail: kichi01@city.ginowan.okinawa.jp



佐喜眞淳宜野湾市長



私の家に宅配ロッカー

私たちフルタイムシステムは、フルタイムロッカーという宅配ロッカーを創り続けて32年になりました。宅配ロッカーとは、不在時に届く宅配便を24時間いつでも受け取れるように保管しておくロッカーです。これからは、多くの人々に、便利で快適なライフスタイルをお届けするため、業界のハイオピカンパニーとして、マンションはもちろん、オフィス、街、戸建て住宅へサービスの開発と提供を続けてまいります。



5月1日(当社創立日)は宅配ボックスの日です。
フルタイムロッカー
 信頼と安心の実績。
 マンション宅配ロッカー設置台数
業界NO.1 世界トップシェア
 創業32年
 全国宅配ロッカー台数
26,000台
 2017年5月時点 当社調べ

【企業様 広告欄】

広告掲載をご希望の企業様は日本経営者同友会までご連絡をお願いいたします。

犯罪の被害にあった
 たいせつなひとを失った
 それはとても辛く悲しいことです
 私たちが被害者支援都民センターは
 犯罪被害にあわれた方の
 刑事手続きや心理的回復の
 お手伝いをしています
 いままでの生活を取り戻し
 一歩を踏み出せるように
 とともに寄りそい
 支えになります
 一人で苦しまないで
 安心してご相談ください



東京都公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体 東京都総合相談窓口

公益社団法人
被害者支援都民センター
 Victim Support Center of Tokyo

電話相談 *相談者の秘密は守られます
03-5287-3336
 月・木・金 午前9:30~午後5:30
 火・水 午前9:30~午後7:00
 (夜間・年末年始を除く)

<http://www.shien.or.jp>

相談・支援
無料

当センターでは、賛助会員・ご寄附を募集しております。皆さまの温かいご支援をお待ちしております。
 事務局 03-5287-3338

琉球泡盛
え米仙
 沖繩の歴史と文化に育まれ、
 受け継がれてきた銘酒琉球泡盛

え米仙酒造株式会社
 URL <http://www.kumesen.co.jp/>
 東京支店 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-7-16 報道ビル6F
 本社・工場 〒902-0074 沖縄県那覇市字仲井155番地
 TEL 03-3291-7771 FAX 03-3291-7772
 TEL 098-832-3133 FAX 098-854-1759



日本経営者同友会は、新時代を切り拓き、企業の発展に貢献する経済団体です

■ご挨拶

企業を取り巻く環境が目まぐるしく変化する今日、その変化への迅速な対応が企業経営者の最大の課題と言えます。こうした状況の中で、中小企業経営者たちは自らを守りぬぐために、本質的な情報や真に価値ある知識によって、新しい事態に生き抜く方策を見出し、即時実現していかなければなりません。経営者同友会は、国際的な視野を持ち、国内外のシンクタンクと共に常に最新情報が入手できる人脈ネットワーク作りをしており、そのネットワークを活用することで、より多くのニーズに応え、より充実した経済活動の展開を目指しております。会員の皆様のお役に立てれば幸甚に存じます。



会長
下地常雄
 Tsuneo Shimoji,
 Chairman

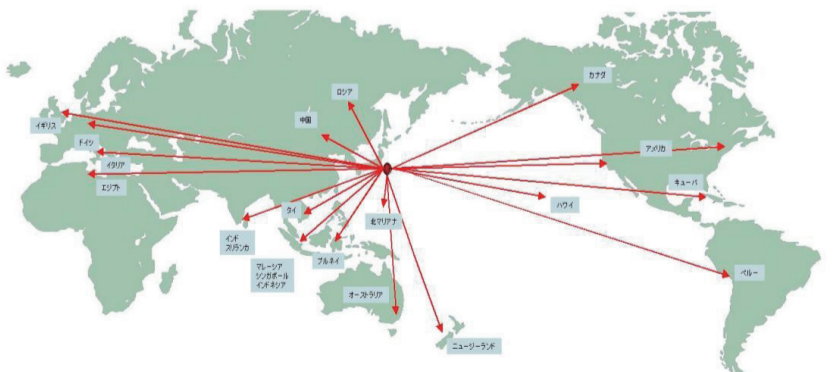
『人脈』

人脈は企業競争を生き抜く強力な武器です。

- 御社の発展に必要な専門知識は充分ですか？
- 御社の事業活動の幅を大きく広げませんか？
- 地理的な制約を超え、さらに海外への進出を検討しませんか？

日本経営者同友会では、豊富な経験と知識を備えた多くのスタッフによるサポート及び、会員企業様が相互に発展できるようなチャンスをご提供いたします。また、長年に亘り築いてきた強力な海外の人脈を活かし、グローバルな企業展開のサポートをいたします。

国際化時代のビジネス環境に対応するJEPAネットワーク



日本経営者同友会グループ団体

日本経営者同友会
<http://www.jepa-net.com>

アセアン協会
<http://jepa-net.com/asean>

在東京ブータン名誉総領事館
<http://bhutan-consulate.org>

特定非営利活動法人国連友好協会
<http://japan-un-friendship-association.org>

